

T O Y O K N I F E C O . , L T D .



東洋刃物株式會社

2014年3月期第2四半期 決算説明会

2013年12月6日

証券コード：5964

目次

1 . 当社について	・ ・ ・ ・ ・	2
2 . 2014年3月期 第2四半期業績概要	・ ・ ・ ・ ・	8
3 . 2014年3月期 業績予想および今後の展開	・ ・ ・ ・ ・	16

当社について

会社概要

設立（決算期）	1925年8月9日（3月）
資本金	500百万円
発行済み株式数	10,000千株
上場取引所	東京証券取引所（第二部）
事業内容	鉄鋼用刃物、情報産業用刃物、製紙パルプ用刃物、製本用刃物、合板用刃物、その他の工業用機械刃物、産業用機械・部品の製造・販売
売上高	4,616百万円（2013年3月期）
主な株主	七十七銀行、常陽銀行、岡邊博昭、自社従業員持株会、みずほ信託銀行、仙台ビルディング
代表者	代表取締役社長 高橋 允
本社所在地	宮城県黒川郡富谷町富谷字日渡34番地11
営業所	仙台、東京、名古屋、大阪、広島
海外事業所	中国（上海駐在員事務所）、マレーシア（クアラルンプール支店、シブ事務所）
関係会社	連結子会社：株式会社トオハ、熱研工業株式会社、東洋緑化株式会社、上海東優刃物国際貿易有限公司（中国） 持分法適用会社：東洋鋼業株式会社（韓国）
主要取引先	新日鉄住金、JFEスチール、ソニー、富士フイルム、パナソニック、THK、東京応化工業、三井精機工業
従業員	237人（正規従業員）

2013年9月末現在

経営理念

- 1. お客様の満足感を創造し、業績の向上につとめる。
- 1. 信頼される品質をもって、社会に貢献する。
- 1. 参画と協調により、活力ある職場をつくる。

経営ビジョン

より高品質・高付加価値の工業用刃物を製造・供給するとともに、精密製品の加工分野においてもトップメーカーを目指す。

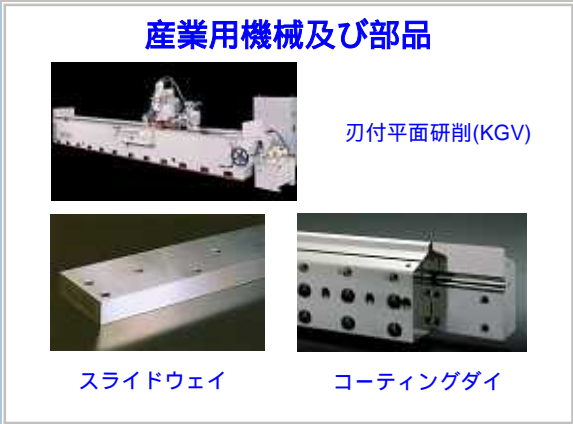
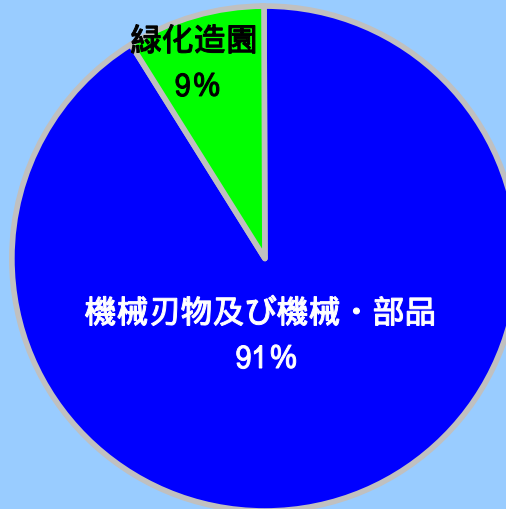
沿革

年 月	概 要
1925年8月	各種工業用刃物の国内生産を目的として、東京市麹町で設立（資本金30万円）。
1925年9月	仙台工場落成。
1937年5月	大阪に第二東洋刃物設立後、10月に吸収合併、大阪工場として稼動開始。
1947年7月	本社を仙台市米ヶ袋に移転。
1960年10月	多賀城工場（宮城県多賀城市）を新設。
1961年11月	東京証券取引所 市場第二部上場。
1961年11月	株式会社トオ八設立。
1967年11月	熱研工業株式会社設立。
1970年8月	富谷工場（宮城県黒川郡富谷町）を新設。
1973年7月	東洋緑化株式会社設立。
1977年9月	大阪・多賀城・富谷各工場の充実のため、仙台工場を売却。
1977年9月	本社を仙台市港四丁目に移転。
1978年3月	資本金を5億円に増資。
1984年1月	株式会社トミックス設立。
1997年4月	富谷工場を増設。
2004年1月	中国現地法人 上海東優刃物国際貿易有限公司設立。
2011年3月	株式会社トミックスを吸収合併。
2011年7月	東日本大震災により被災したため、本社を宮城県黒川郡富谷町に移転。
2012年2月	大阪工場を富谷工場へ移転。富谷工場の一事業所として多賀城工場の操業を一部再開（多賀城事業所）。

事業構成及び主要製品

国内機械刃物市場でトップクラスのシェア。

2013年3月期売上高
4,616百万円



当社グループの概要

The map shows the company's presence in Japan, China, and Southeast Asia/Oceania. Callouts include:

- 東洋鋼業(株) (持分法適用関連会社) ✓韓国市場向け製造・販売** (Yamaguchi, Japan)
- 上海東優刃物国際貿易有限公司 (連結子会社) ✓中国市場向け販売** (Shanghai, China)
- 上海駐在員事務所 ✓中国市場向け販売** (Shanghai, China)
- クアラルンプール支店、シブ事務所 ✓東南アジア・オセアニア地域市場向け販売** (Kuala Lumpur/Sibu, Southeast Asia)

(国内)

東洋刃物株式会社(本社:宮城県富谷町)
 ✓国内・海外市場向け工業用機械刃物の製造・販売、
 産業用機械・部品の製造・販売

生産拠点	主要生産品
富谷	情報産業用・鉄鋼用・製紙パルプ用各種刃物、産業用機械・部品、その他
多賀城	産業用機械・部品、合板用刃物、その他

営業拠点	販売エリア
仙台	東北・北関東(一部)
東京	東京・関東・甲信越・静岡(一部) ・北海道・海外(米国、欧州、その他)
名古屋	東海・北陸・近畿(一部)
大阪	近畿・四国・中国(一部)
広島	中国・九州・四国(一部)

連結子会社	事業内容
(株)トオハ	国内市場向け工業用機械刃物の製造・販売
熱研工業(株)	国内市場向け工業用機械刃物の製造・販売
東洋緑化(株)	緑化造園工事

2014年3月期第2四半期 業績概要

2014年3月期第2四半期 決算概要

単位：百万円

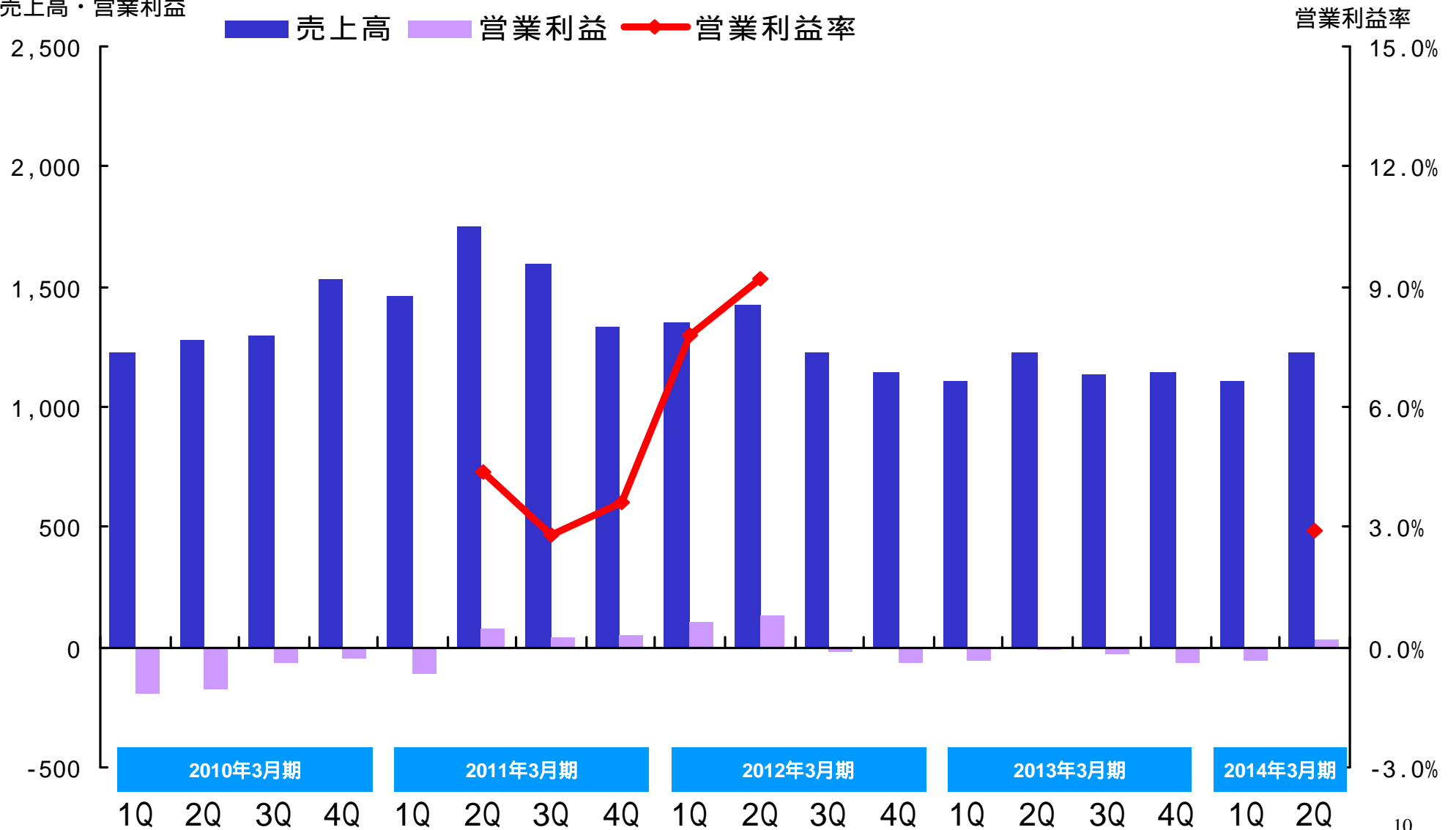
	2013年3月期 第2四半期		2014年3月期 第2四半期 期初計画		2014年3月期 第2四半期		対前期		対計画 増減率
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
売上高	2,331	100.0%	2,350	100.0%	2,338	100.0%	6	0.3%	0.5%
売上総利益	495	21.2%	510	21.7%	496	21.2%	0	0.2%	2.7%
販売費及び一般管理費	567	24.4%	525	22.3%	515	22.1%	52	9.2%	1.7%
営業利益	72	3.1%	15		19	0.8%	52		
経常利益	120	5.2%	50		53	2.3%	66		
税金等調整前当期純利益	239	10.3%	110	4.7%	286	12.2%	46	19.6%	160.0%
当期純利益	227	9.7%	110	4.7%	267	11.4%	39	17.6%	142.9%
一株当たり当期純利益（円）	22.77		11.02		26.78				

- ✓主力の情報産業用刃物、産業用機械及び部品に動きが出始めたものの、前期の受注低迷を受け、売上高は前年同期と同水準の2,338百万円
- ✓19百万円の営業損失となったものの、コスト削減効果で前年同期に比し営業利益は大きく改善
- ✓投資有価証券売却益174百万円、固定資産売却益185百万円を特別利益に計上し、四半期純利益は267百万円

四半期業績の推移

単位：百万円

売上高・営業利益



2014年3月期第2四半期 用途別売上高及びセグメント利益

単位：百万円

	2013年3月期 第2四半期			2014年3月期 第2四半期						
	売上高		セグメント利益	売上高				セグメント利益		
	金額	構成比	金額	金額	構成比	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
機械刃物及び機械・部品	2,125	91.2%	66	2,124	90.8%	1	0.1%	94	28	43.2%
鉄鋼用	425	18.2%		393	16.8%	32	7.5%			
合板用	42	1.8%		53	2.3%	10	24.5%			
製紙パルプ用	300	12.9%		267	11.4%	33	11.0%			
情報産業用	535	23.0%		581	24.9%	45	8.5%			
製本用	47	2.0%		26	1.1%	20	44.6%			
産業用機械・部品	435	18.7%		425	18.2%	10	2.3%			
その他	338	14.5%		377	16.1%	39	11.7%			
緑化造園	205	8.8%	10	214	9.2%	8	4.1%	12	2	22.8%
合計	2,331	100.0%	76	2,338	100.0%	6	0.3%	107	30	40.5%

✓機械刃物及び機械・部品

【売上高】・鉄鋼用は丸刃の伸びはあったものの、品種全体としては7.5%減
 ・中小型液晶、高機能フィルムの需要を背景に情報産業用が伸び、前年同期比8.5%増
 【セグメント利益】旧大阪工場移転後の生産安定化、減価償却費の減少により43.2%増

✓緑化造園

【売上高】造園工事及び管理業務が堅調に推移したことに加え、大口案件の受注もあり、前年同期比4.1%増
 【セグメント利益】工事の進捗管理を徹底したことによるコスト削減効果で、前年同期比22.8%増

2014年3月期第2四半期 地域別売上高

単位：百万円

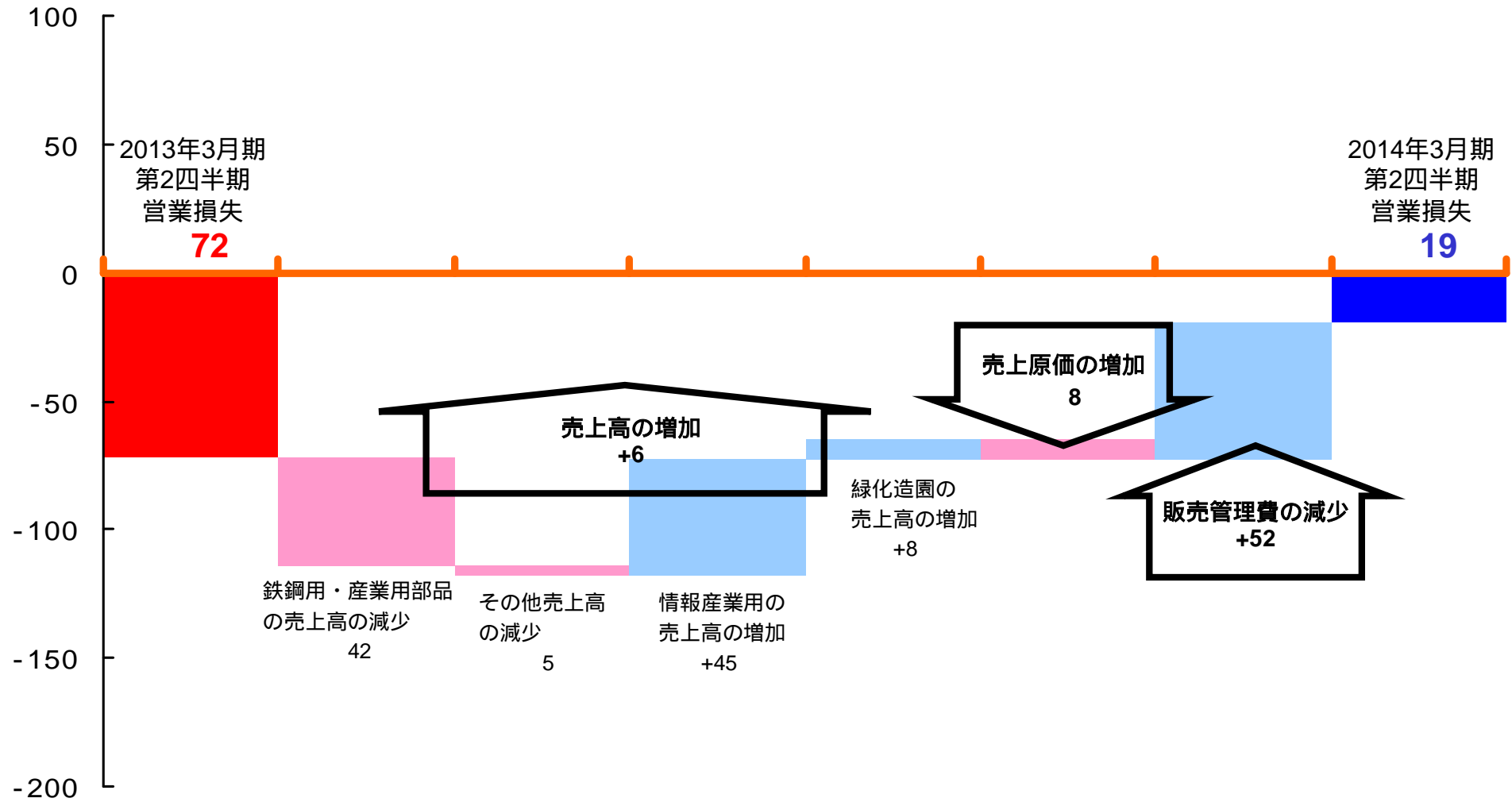
	2013年3月期 第2四半期		2014年3月期 第2四半期			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
日本	2,069	88.8%	1,997	85.4%	72	3.5%
除く緑化造園	1,864	80.0%	1,783	76.3%	80	4.3%
海外	261	11.2%	340	14.6%	79	30.2%
中国	91	3.9%	198	8.5%	107	116.9%
東南アジア	126	5.4%	127	5.4%	1	0.9%
その他	44	1.9%	15	0.6%	29	65.8%
合計	2,331	100.0%	2,338	100.0%	6	0.3%

【日本】情報産業用、合板用、産業用機械は伸びたものの、鉄鋼用、産業用機械部品の減少が影響

【海外】中国現地販売子会社での合板用、情報産業用の販売が伸び、売上増に貢献

2014年3月期第2四半期 営業利益（増減要因）分析

単位：百万円



2014年3月期第2四半期（連結）貸借対照表

単位：百万円

	2013年3月期末		2013年9月期末				主な要因
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
資産の部							
流動資産合計	3,151	58.0%	3,175	59.1%	24	0.7%	
現金及び預金	709	13.1%	728	13.6%	18	2.6%	特別利益の計上
受取手形及び売掛金	1,256	23.1%	1,331	24.8%	75	6.0%	
棚卸資産	1,162	21.4%	1,080	20.1%	81	7.0%	原材料の減少
固定資産合計	2,278	42.0%	2,196	40.9%	81	3.6%	
有形固定資産	1,814	33.4%	1,723	32.1%	91	5.0%	
投資有価証券	354	6.5%	373	6.9%	19	5.4%	
資産合計	5,429	100.0%	5,372	100.0%	57	1.1%	
負債の部							
流動負債合計	3,626	66.8%	3,152	58.7%	47	13.1%	
支払手形及び買掛金	560	10.3%	512	9.5%	47	8.5%	
短期借入金（一年以内返済の 長期借入・社債含む）	2,740	50.5%	2,341	43.6%	398	14.5%	元本の返済
固定負債合計	1,366	25.2%	1,460	27.2%	116	8.7%	
長期借入金	810	14.9%	916	17.1%	106	13.2%	
負債合計	4,993	92.0%	4,612	85.9%	357	7.2%	
純資産の部							
資本金	500	9.2%	500	9.2%			
資本・利益剰余金	54		212		267		当期純利益の計上
その他の包括利益累計額	16	0.3%	48	0.3%	32	201.9%	
少数株主持分	1	0.0%	1	0.0%	0	4.0%	
純資産合計	459	8.5%	759	8.5%	300	65.3%	
負債及び純資産合計	5,429	100.0%	5,372	100.0%	57	1.1%	

2014年3月期第2四半期 キャッシュフロー（CF）計算書

単位：百万円

	2013年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期		
	金額	金額	増減額	増減率
営業活動によるCF	235	1	234	99.6%
投資活動によるCF	191	325	516	
（フリーCF）	44	326	282	640.9%
財務活動によるCF	478	313	165	
現金及び現金同等物の増減額	433	24	457	
現金及び現金同等物の期首残高	1,122	624	498	44.4%
現金・現金同等物の期末残高	688	649	39	5.7%

単位：百万円

	2013年3月期		2014年3月期	
	上期	下期	上期	下期（予想）
	金額	金額	金額	金額
設備投資	34	35	52	40
減価償却費	150	197	137	135
研究開発費	16	23	14	20

2014年3月期 業績予想および今後の展開

2014年3月期 業績予想

単位：百万円

	2013年3月期		2014年3月期（予想）					
	金額	構成比	金額	構成比	前期比		進捗	
					増減額	増減率	第2四半期	対通期予想
売上高	4,616	100.0%	4,670	100.0%	53	1.1%	2,338	50.1%
営業利益	168	3.7%	10	0.2%	178		19	
経常利益	236	5.1%	30		206		53	
当期純利益	73	1.6%	270	5.8%	196	266.1%	267	99.0%
1株当たり当期純利益（円）	7.39		27.05				26.78	

- ✓主力の情報産業用、産業用機械及び部品の売上確保に加え、旧大阪工場移転後の生産性向上、減価償却費・外注費の減少により利益改善を見込む
- ✓投資有価証券の売却、被災した旧多賀城工場の不動産の一部譲渡により、売却益を特別利益に計上し、当期純利益は196百万円の増加予想

2014年3月期 用途別売上高予想

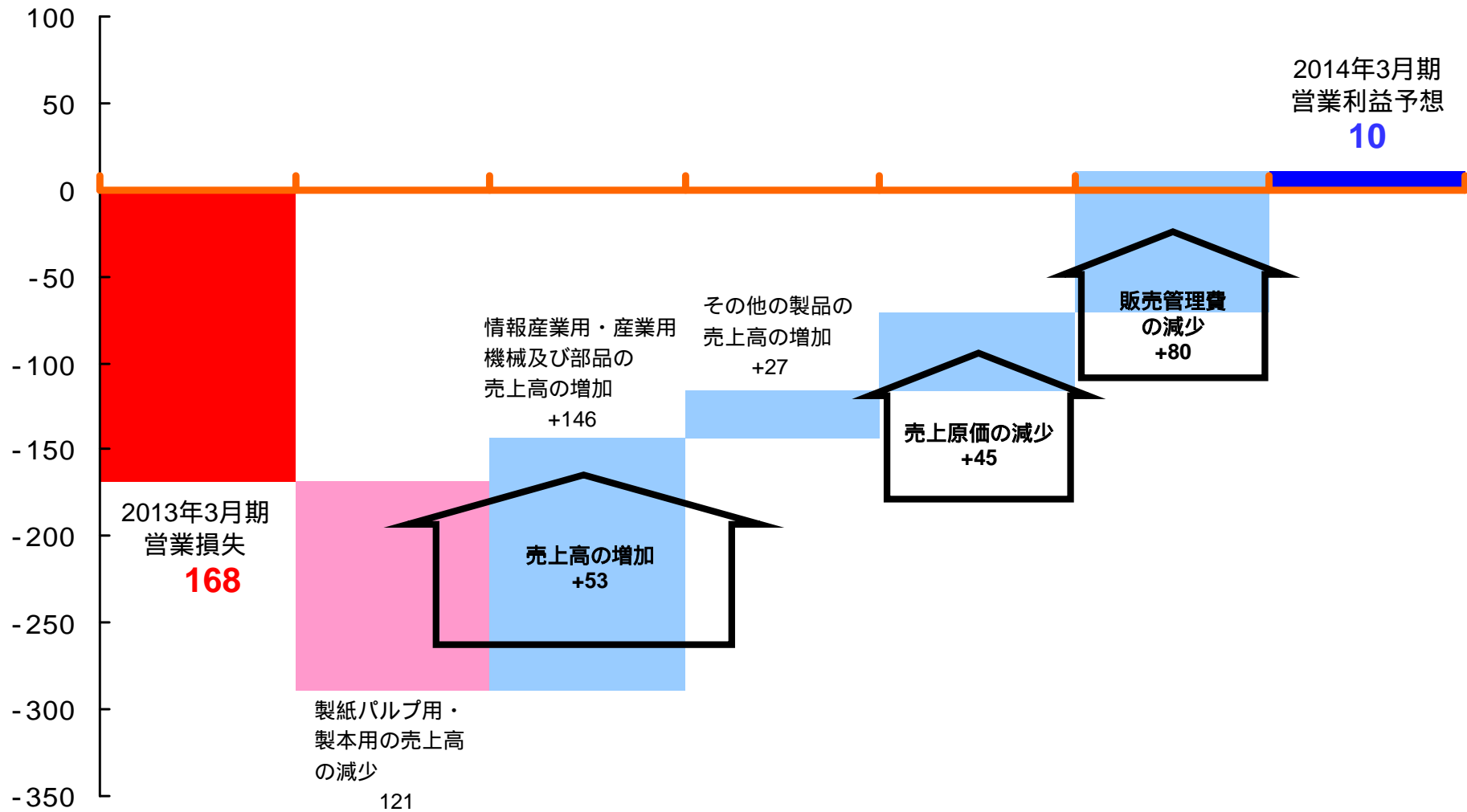
単位:百万円

	2013年3月期		2014年3月期 (予想)			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
機械刃物及び機械・部品	4,217	91.4%	4,270	91.4%	52	1.2%
鉄鋼用	776	16.8%	780	16.7%	3	0.5%
合板用	100	2.2%	120	2.6%	19	19.4%
製紙パルプ用	572	12.4%	480	10.3%	92	16.1%
情報産業用	1,168	25.3%	1,230	26.3%	61	5.2%
製本用	79	1.7%	50	1.1%	29	37.5%
産業用機械・部品	794	17.2%	880	18.8%	85	10.7%
その他	724	15.7%	730	15.6%	5	0.7%
緑化造園	399	8.6%	400	8.6%	0	0.2%
合計	4,616	100.0%	4,670	100.0%	53	1.1%

- ✓鉄鋼用は石油・ガスパイプライン用鋼管関連が堅調に推移する見通し
- ✓情報産業用、産業用機械及び部品の需要増を見込む
- ✓緑化造園は、造園工事及び管理業務を中心に堅調に推移する見込み。コスト管理を徹底し更なる収益向上を目指す

2014年3月期 営業利益予想（増減要因）分析

単位：百万円



今期経営方針及び主な重点施策（進捗状況）

営業部門

高付加価値・高精密製品の拡販 ----- 高評価の新製品である高精度移動式ホルダーの拡販を図る（特許権3件、意匠権2件取得）

成果あり **第1回関西高機能フィルム展に出展。高評価を受け、現在営業展開中**



浸炭S W（スライドウエイ）の受注拡大に加え、ノウハウを活かした新製品としてロー付S Wの拡販を図る

成果あり **浸炭S W：航空機関連の工作機械用を中心に受注増加**
ロー付S W：工作機械メーカー2社より受注済。今後更なる受注増が見込める



【浸炭S W】



【ロー付S W】

仕入製品の拡販を図り、売上・利益に貢献する

継続中 **国外からの仕入も含め取組強化**

今期経営方針及び主な重点施策（進捗状況）

研究開発部門

鉄鋼用刃物の新鋼種研究が具体化 ----- V A / V E 提案として拡販につなげる


継続中
高炉メーカーにてフィールドテスト実施

高性能・多機能材のスリットテストを積極的に推進する


成果あり
スリットテスト実施による2013年4月～9月のナイフユニット受注件数：18件

東北大学金属材料研究所との共同研究による【EBM(電子ビーム積層造形)法による高耐食性刃物】の開発


進展あり
試作を終え、生産現場でのフィールドテストの段階へ

製造部門

生産の効率化・平準化を図り、納期短縮に繋げる


進展あり
作業員の多能工化を推進中

更なる製造原価削減推進 ----- 鋼材管理プロジェクトを発足

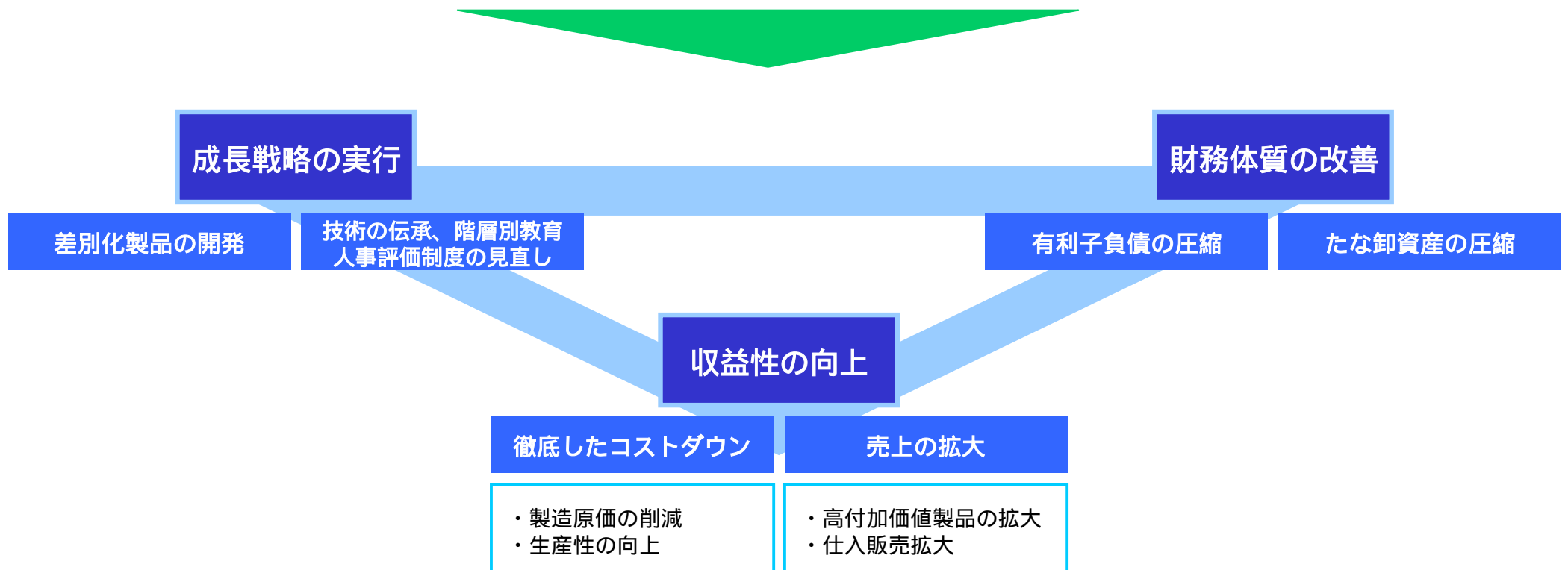

成果あり
一元管理を実施。鋼材在庫は漸減傾向

今後の展開

ライジング東洋プロジェクト2012

業務改善への取組み

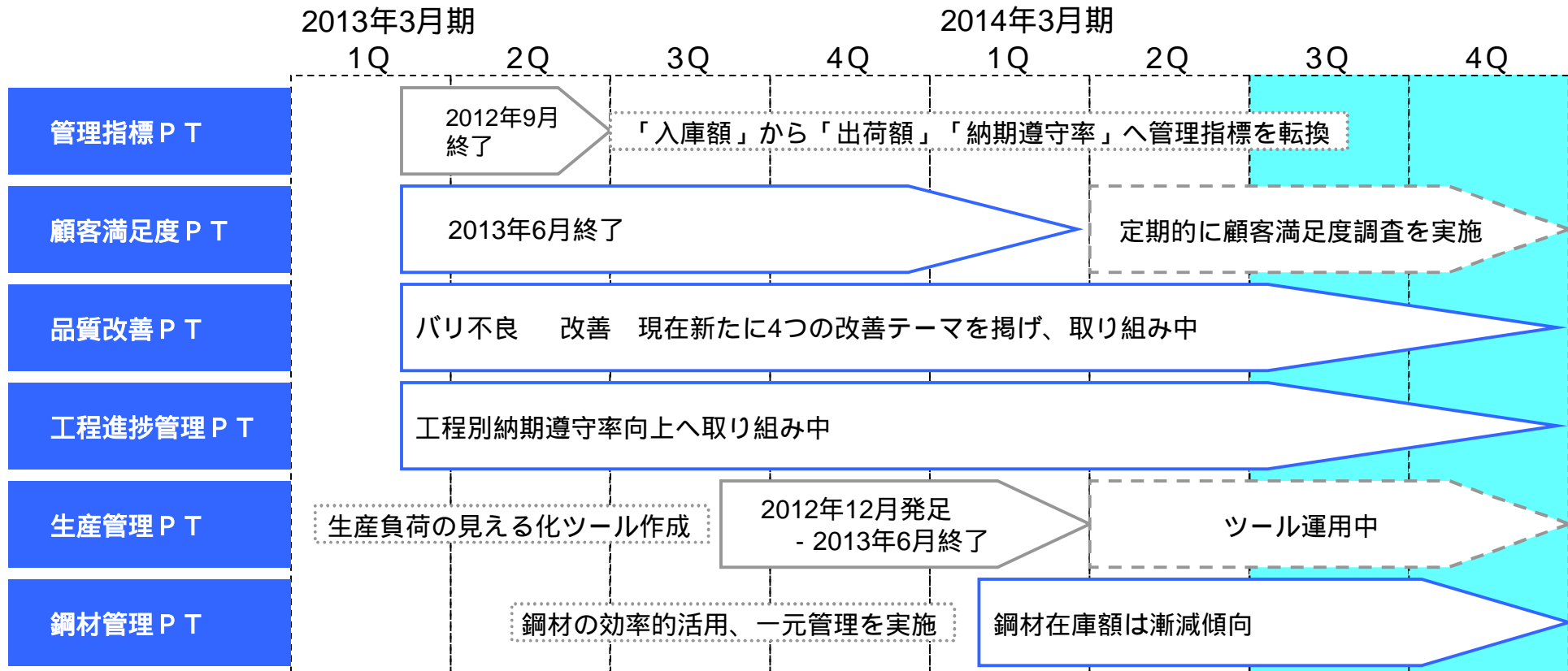
顧客満足度の向上 工程進捗管理の改善 製品品質の更なる改善 鋼材管理の効率化



ライジング東洋プロジェクト2012の進捗

お客様により大きな付加価値を提供するため、工場中心から顧客中心へ価値基準の転換を図り、4つのプロジェクト・チームを立ち上げ（2012年6-7月）

プロジェクト・チームの主な取組事項及び進捗状況



**本件に関するお問合せは、
管理部 IR担当（022-358-8911）までお願いいたします。**

本資料は証券投資に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。また、本資料には、計画、方針、経営戦略などといった、将来に関する記述があります。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく予測、計画等を基礎として作成しているものであり、不確定要素を含んでいます。従って、様々な要因の変化により、実際にはこれらの記述と異なる結果となる可能性があります。そのため、実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。また、投資に際して生じたいかなる損失に対し当社が責任を負うものではありません。